



われらの金池

梅雨の季節を楽しもう

6月に入り、ぼちぼち梅雨入りの言葉も聞かれそうな時期となりました。子どもたちにとって、外で遊べない日が続く湿気も多く、気温も上がり、ムシムシとした日が続くことになり、いやだなと感じる人が多いと思います。

それでも、この時期のまとまった雨がないと、作物を育てている方は困ります。学校にも、朝顔、ミニトマト、その他学級園には野菜、そして5年生がお米を育てる田があります。梅雨時期の水分をたっぷり吸収し、夏の燦々と降り注ぐ太陽の光を浴び、実を成長させ、秋の収穫へとつながっていきます。雨の時期の過ごし方も、自身で楽しみを見つけ（休み時間は図書館へひたすら通う、室内で友達と楽しく過ごす遊びを見つける、梅雨について研究する…他）、乗り越えていきたいものです。

「傘かしげ」という言葉をご存じでしょうか。朝の交通指導で雨の日に横断歩道を渡る時、多くの子どもたちが、お互いの傘がぶつからないように傘を斜めに傾けてくれます。私も傾けます。その姿を「傘かしげ」というそうです。雨の日も、たくさんの「あたたかさ」に出会い、うれしくなります。



【校外においても責任ある行動を】

新年度が始まって2か月、学校外での子どもたちの行動(登下校時、放課後、休日等)により、きつい思いをする方が出ています。「子ども」だから何でもしてよいということにはなりません。危ないこと、傷つけるようなことをしてしまったら、その反省のもと、次からは責任ある行動へと変えていくことが、「あたらしさ」につながります。

以下、最近の事案です。ご家庭でも「責任ある行動」についてお話していただけたらと思います。

- 登下校時、歩道に広がりすぎて、他者の通行の妨げになる。
- 公園での遊びで他者に迷惑をかける。
- 近隣の学校に通う生徒に対して、その容姿をからかうような言葉を言う。

【熱中症と水筒持参時の留意】

5月の後半は、気温の変化が激しく、体調を崩す児童も見られました。これから本格的な暑さ、湿気を含んだ時期に入ります。熱中症対策(こまめな水分補給、朝食をしっかりとること、外出時の帽子着用等)にもどうぞご協力をお願いします。

なお、水筒を持参する場合、身体にかけていて何かのはずみで転んだ場合に、水筒でおなかを強打するという事案も想定されますので、あわてないように十分留意願います。

【「三さ」を高めるチャンス～6年生と5年生～】

6月は、6年生が4～5日にかけて佐賀、長崎、熊本方面に「修学旅行」へ、そして5年生が24～25日にかけて「のつはる少年自然の家宿泊体験学習」に出かけます。たくさんの「あたらしさ」を発見し、友達とのかわりの中で「あたたかさ」を高め、困難な事案にも「たくましさ」を発揮してほしいと思います。